

本の世界を楽しもう♪

～いつもと違う読書体験してみませんか？～



1) 企画のねらい

従来の本に関係する講座は、ビブリオバトル or 読み聞かせ講座 or 本の修理 などですが、**もっと気軽に 皆で楽しめるものは無いのか？**との思いで企画しました。

五感（話すこと、味わうこと、見ること、触ること、聴くことなど）を通じて、個人では体験できない、多人数だからこそ楽しめる「本に関する講座」を開催したい。

また、受講した後の皆さんが自ら「読書会や作品の舞台になった場所など訪ねてみたい」など外へ出る交流のきっかけになるような講座にしたい。

2) 計画とスケジュール

- 4月 運営委員4人にて活動開始 公開講座候補者選定→依頼
- 5月 会場依頼 会場確認
- 6月 各回の具体的な内容の検討 調理試作
- 7月 講師打ち合わせ
- 8月 公開講座取材及資料作成 広報依頼提出
- 9月 調理試作と会場確認
- 10月 講座の開講

3) 活動内容

運営委員会	全15回	その他別に会場依頼と確認	取材や料理の試作など
委員会開催曜日	主に平日	メンバーの都合のいい日	
場所	区役所 or 青葉台コミュニティハウス本の家		
内容の共有	メール（資料の添付）と	Lineの併用	

4) 講座内容 全5回

第1回 10/14（土） 本を並べておしゃべりしよう ～お気に入りの本で読書会～

司会・進行 運営委員

青葉台コミュニティハウスの中会議室で受講者14人全員が参加してくださいました。前半は3つのグループに分かれて、各自の読書の仕方や本をどこで探すのかなどを話し合いました。日ごろそういった情報を共有する機会がないので、とても参考になりました。

後半は、車座に座って各自お気に入りの本を紹介してもらいました。普通の自己紹介に比べてその人の人となりがよくわかり、後で受講者同士で話すときも、紹介した本を思い出してお話するのでとても話が弾みやすく、親しくなるよいきっかけになりました。また、新しいジャンルの本を読むよいきっかけとなり、非常に楽しい講座のはじまりとなりました。

第2回 10/26(土) 本を読んで味わおう ～時代小説の江戸料理を再現～

調理下準備 司会・進行 運営委員

最初に小説と料理の講義をしました。全員が江戸料理の特徴や食材について基礎知識を得た後、料理にちなんだ小説の一節を皆で音読をし、これから作る料理についてイメージを持ってもらいました。その間運営委員の内2人で、全メニューの分の出汁の用意や、野菜の下処理等をすませておきました。全員で調理室に移動し、かつお飯・根深汁・里芋と葱の含め煮・茶碗蒸しを作る班に分かれてそれぞれ調理を行いました。作りながら参加者の皆さんで会話が弾んだようです。1時間で全メニューが出来、対面に座り試食を行いました。メニューの感想を話しながらの試食タイムになりました。運営側としては、調理に使うカツオが10月末に手に入るか、当日出汁を作り冷ますことが可能か、人数分の茶碗蒸しが時間内に出来上がるかなど課題がクリアになり実施出来て良かったと思いました。

メニュー

- かつお飯
- 根深汁
- 里芋の煮物
- 茶碗蒸し



第3回 11/11(土) 本を持って出かけよう ～万葉集を片手に散策～

講師 國學院大學教授 博士(文学) 豊島秀範氏

國學院大學のたまプラーザキャンパスにて、万葉集の歌と万葉植物に関する講義を豊島教授にお願いしました。ここは大学内に「万葉の小径」という人で万葉植物が植えられている所があり、文章の中でしか見ることのできなかつた樹や草花に触ることが出来ます。教授に歌の解説をしていただきながら巡るという大変贅沢な一時となりました。実際にススキの穂が風になびき、サザンカの花が咲き、遅い秋の空気を感じる散策でした。巡りながら教授とお話しができ、参加者同士でも会話が生まれ楽しい時間になりました。大学側よりお土産に國學院が所蔵している文物の絵はがきや葉を頂きました。講義の後、キャンパス内のカフェにてお昼ご飯を食べました。先生のご参加もあり、自由参加にもかかわらず全員参加になりました。先生の温かいお人柄に触れる素敵なひととき。万葉集の世界に浸れた1日となりました。

第4回 11/25(土) 公開講座

マンガを読んで会いに行こう ～地元舞台のマンガ家山本さほさん トークライブ～

講師 マンガ家 山本さほ氏

現在、雑誌ビッグコミックスペリオールに「岡崎に捧ぐ」を連載中の山本さほさんをお招きして、青葉区緑区育ちの先生と運営委員によるトークライブを行いました。小学生時代のお話を詳しく伺った後、マンガの扉絵と同じ場所を撮影した写真をプロジェクターで写し参加者に答えてもらいました。地元には詳しくないと分からない場所も正解が続き、地域の方が参加していることを嬉しく思いました。さほさんにもその場所にまつわる思い出話を沢山して頂きました。都内から駆け付ける熱心なファンの他、先生の人柄に触れて後日マンガを読んだという声

もありました。お土産にさほさんのイラストの入り絵はがきと、この日のための書き下ろしてくれた「なしかちゃんとのコラボイラスト」の葉を配ったところ大好評でした。当日は田園都市線のトラブルが発生し開始時間を遅らせましたが、無事開催出来て良かったと思いました。

第5回 12/9 本と音楽のサロンへご招待 ～シェイクスピア時代の音楽を解説～

講師 音楽評論家 那須田務氏

音楽評論家・那須田務先生をお招きして、紅茶・珈琲を飲みながらエリザベス朝時代の娯楽や文化、当時の楽器の解説を伺ってから音楽を聴く、という大変優雅な回になりました。楽器の変遷やその時代の音楽家の社会的な立場など、普段知ることのない方面からのアプローチで、参加者の皆さんにとっても大変印象的な回だったようでした。先生より、当時のシェイクスピアの舞台の中で歌われたと思われる歌や音楽を沢山紹介して頂きました。会場は青葉台コミュニティハウス本の家が多目的室だったのですが、音響設備が素晴らしくサロンという言葉にふさわしい優雅な空間が生まれました。最後は全員に講座の感想を述べて頂き、全5回を振り返りました。

5) 成果

運営委員が5人に増えた

参加者有志で定期的な読書会を開催 (11人参加)

6) 参加者の感想

- ・大変楽しみに毎回通わせていただきました。4回目の公開講座では、会の構成、運営など大変でしたが、立派な内容と運営に感動しました。
- ・本の世界を講座の参加者の方や運営委員の方、そして講師の先生と楽しむことができました。ありがとうございました。
- ・イメージしていたものとは全く違ったのでこういう企画とは驚きました。
- ・本にまつわる色々な切り口からの講座が受講できておもしろかったです。
- ・5感を通しての本の世界をひろげる講座、素晴らしいと思いました。きっとこれからもハムレットの中の曲を聴くと、このときの講座を思い出すと思います。本当にありがとうございました。
- ・いろいろな視点から本の話についてお話がきけたのでとてもよかった。
- ・よくぞ、こんな楽しい講座を考えてくださったと大感激。
- ・全講座ともよく考えられていて素晴らしかったです。本の読み方が変わりそうです。
- ・バラエティーに富んで又新しい世界が広がりました。どの回も楽しく集中して聞くことができ、本の読み方も変わって来た様に思います。
- ・本の世界とあったので、本の中ばかりかと思っていましたが、こんなに広範囲に及び、思いもかけず本当に毎回楽しくて楽しくて、ひさしぶりに気持ちが高揚しました。本当に充実の5回で色々と学ばせていただき、生活に幅が広がりました。